

パンひとつ (A loaf of bread) という 動画が回ってきました

主を思う・・・

by NCM2 CHOIR

全2page

パンひとつ (A loaf of bread) という動画が回ってきました

1935年1月、ニューヨーク市の寒い夜に裁判が行われていました。みすぼらしい老女がパンを一個盗んだというので、裁判にかけられたのです。この動画は音無しのスライド写真で、写真のなかに文章が書かれているだけなのですが、それを読みながら、私は涙にくれました。この夜の裁判官は、ニューヨーク市長のフィオレロ・ラガーディアでした。彼は、パンを盗んだ老女に、「パンを盗んだ動機は何だったのですか？」「お腹が空いていたのですか？」と尋ねました。女は、裁判官を見て、「はい、お腹は空いていましたが、自分のためにパンを盗んだわけではありません。」「娘婿が家族を捨て、娘は病気になり、2人の子供は飢えています。彼らは何日も食べていません。彼らがお腹を空かせているのを見るのは我慢できませんでした。彼らはまだとても小さいのです」と答えました。裁判官は彼女に、「法の下では誰もが平等です。パンを盗むと、10ドルの罰金を支払うか、10日間の刑務所に行くかを選ばなければなりません」と伝えました。彼女は、それに応えて、「裁判官さま、謹んで申します。私は自分のしたことで罰せられることは喜んでお受けします。もし私に10ドルあったら、パンを盗むことはなかったでしょう。ですから、私は刑務所に行きたいと思います。ただ、私の唯一の懸念は、私が刑務所にいる間、だれが娘と孫の世話をしてくれるかです。」裁判官は一息ついて、椅子にもたれかかり、それから彼はポケットに手を伸ばし、10ドル札を引き出すと、法廷にいる人たちが見えるようにそれを持ち上げました。そして、彼は大声で言いました、「この10ドル紙幣で、私が罰金を払いますので、彼女は、自由に立ち去ることができます。」そして、彼は法廷にいる人々の方を向って、「さらに、私はこのコミュニティの無関心と無知に対する罰として、今、この法廷にいる各人に50セントを請求します。年老いた女が家族を養うためにパンを盗むことがあってはなりません。廷吏さん、お金を集めて被告人に渡してください。」そのようにして、集められた50セントは、彼女がパンを盗んだ食料品店と、裁判を待っている他の12人の被告と数人の警官から来ました。

翌日、この話はニューヨークの新聞で取り上げられ、この貧しい告発された女性に \$47.50 寄付されたとのことでした。(当時の \$47.50 は、今の貨幣価値に換算すると、約 \$902.50 になります。)当時のニューヨークの人々の生活は悲惨で、多くの人が飢え、または凍えて死んでいました。今では、貧しいひとたちには、暖房費が与えられ、食料の援助もあります。

＜ニューヨークは変わりました

息子がN Y U (ニューヨーク大学)に入学した直後にあの 9.11 の同時多発テロの攻撃がありました。息子たちは、橋を渡ってニュージャージー州に避難したのですが、歩いていた息子たちに水ボトルを渡してくれたりするニューヨークの人たちの親切さに心を打たれたようです。それまでは、カルフォルニアが彼の本拠地でしたが、それ以降、彼は、ニューヨーカーになってしまいました。ルカによる福音書の 10 章にイエスさまが語られた “ 良きサマリア人 ” の譬えがあります。

「10:30 イエスが答えて言われた、「ある人がエルサレムからエリコに下って行く途中、強盗どもが彼を襲い、その着物をはぎ取り、傷を負わせ、半殺しにしたまま、逃げ去った。・・・10:33 ところが、あるサマリヤ人が旅をしてこの人のところを通りかかり、彼を見て気の毒に思い、10:34 近寄ってきてその傷にオリーブ油とぶどう酒とを注いでほしいをしてやり、自分の家畜に乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。10:35 翌日、デナリ二つを取り出して宿屋の主人に手渡し、『この人を見てやってください。費用がよけいにかかったら、帰りがけに、わたしが支払います』と言った。」

私たちが貧しい頃、私たちのボロ車は、よく止まってしまいました。すると、だれかが車から降りてきて、助けてくれたのでした。エンジンがかかり、“How much do I owe you ? ” (いくら払えばいいか) と言ったら、“You do the same to others” (君も同じようにすればいいんだよ) という返事が返ってきました。今振り返ると、古き良き時代でした。

ロバート・イー



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話 & FAX 093-692-9200 (9:00 ~ 13:00) URL <http://www.oriochristianchurch.net>

メール oriochurch@outlook.jp